

■ はじめに

6月19日（日）15:00～18:00 北海道大学工学部 MUTSUMI ホールにて、構造設計交流会を開催いたしました。7作品の発表があり、JSCA 会員はもちろんのこと、若手設計者や非会員の方、学生など40名の参加がありました。発表者の熱い思い、会場からの多様な意見や質問など、学生を含めて相互に発言しあう盛り上がった交流会になりました。

以下、個人的な感想も含めつつ、詳細を報告いたします。

■ 第一の目標 「道内構造設計者の交流」

7作品の発表はレストランから大規模工場、木造、免震構造、ファサードなど、多種多様な作品が集まりました。7分の作品発表および3分の質疑応答の短時間の中、構造設計者どうし、有意義な意見交換を行うことができました。一方で全員の発言を期待するあまり、そして時間の都合上、本格的な議論にまでは踏み込めなかったと感じています。それでも40名の参加者の半数以上の発言があり、参加型・相互発信型の有意義な交流を行うことができたと感じています。



和やかな雰囲気交流会

■ 第二の目標 「若手設計者や学生に構造設計の役割や楽しさ（苦しさ）を伝えること」

7 作品は構造設計の役割や楽しさを存分に示し、若手設計者にとって所属事務所以外の構造設計者の作品を深く知ることができる極めて有意義な会となったと感じています。学生にとっても、完成作品やインターネットでは決して感じる事ができない、構造設計者の生の発言に触れ、得るものは大きかったのではないかと感じています。また講演を聴くだけでなく発言することでより深い体験になったことと思います。



若手・学生も多く参加



会場からの質問



長谷川氏持参の異型鉄筋 D32 にびっくり

■ 第三の目標 「構造デザイン発表会への推薦作品の決定」

今年 10 月に東京で行われる「JSCA 構造デザイン発表会」への支部推薦作品は、4 人の発表者が発表意思を示し、下表の 4 作品となりました。支部からの発表者には、JSCA 本部より JSCA 規定交通費の半額補助を受けることができます。なお、残り半額の補助について、北海道支部にて検討を行うこととなりました。

なお、当日参加者の全員が人気投票を行い、「陸別小学校 田原一徳/北海道日建設計」さんが見事、一位を獲得しました！発表者全員に記念品（1st PRIZE（1 位）：タイルサンプル製、WINNING A PRIZE（入賞）：新日軽ご提供アルミハニカムパネル製）が贈呈されました。



今氏の発表



宮城氏の発表



長谷川氏の発表



安田氏の発表



山脇氏の代理発表



宮本氏の発表



人気投票第1位となった田原氏の発表



記念品の授与



ご講評（羽沢氏・向山氏・西濱氏・二瓶支部長）



二瓶支部長の閉めの言葉



発表者と二瓶支部長

■ 発表作品

	タイトル	発表者/所属	構造デザイン 発表会 支部推薦作品
1	巨大走行クレーンを有する工場 某工場増設工事	今 治宣/(有)ケー・エス・イー建築設計 伊藤展夫/伊藤設計事務所	○
2	北洋大通りセンターメインエントランスファサード ガラスを支えるフラットバー	宮城正弘、石丸修二、山脇克彦 /㈱北海道日建設計	○
3	東京理科大長万部女子寮	長谷川圭一/㈱竹中工務店	
4	(仮称)クリーンセンター建設工事	安田俊幸/鹿島建設㈱北海道支店	
5	ザ・バーン ギャンブルル屋根のレストラン	山木優敬、佐久間拓/GSA 合同会社 (代理発表：山脇克彦)	○
6	市立根室病院 段差を有する敷地に建つ免震構造建物	宮本 守/㈱石本建築事務所札幌支所	
7	陸別小学校 集成材による大空間	田原一徳、石丸修二、山脇克彦 /㈱北海道日建設計	○

■ 次回へ向けての改善点

- ・ 会場は変更すべき。ただしアクセスしやすく開放的で参加しやすい会場がよい。
- ・ 参加者を増やすべき。JSCA 全会員が一度は参加すべきと考える。非会員・学生への周知方法も戦略が必要。
- ・ 写真かイラスト入りのチラシを作成したい。お金はかけない。メールやネットでの配信が効果的。
- ・ あまりの大人数は発言しにくい雰囲気になりがちなので工夫も必要か。
- ・ 発表経験を積む意味でも、発表者を増やすべき。ただし今回 7 件で 3 時間の会議となり、最大 10 件、4 時間の会議が限度か。
- ・ 経験年数が浅い若手同士の交流会（勉強会くらいの位置づけか）を別途企画してもよいかも。
- ・ 配布資料があったほうが理解しやすい。次回は建築概要だけでも配布資料作成を義務付けるか。
- ・ 開催は日曜日よりも土曜日がよいか？

以上